

# 2025年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2024年10月29日

 黒崎播磨株式会社

(証券コード：5352)

1. 2025年3月期第2四半期決算の概要
2. 経常利益増減要因分析
3. セグメント別業績（連結）
4. 耐火物セグメントの概況
5. ファーネスセグメントの概況
6. セラミックスセグメントの概況

## 業績概況

単位：億円

	FY2023_上期	FY2024_上期	前年同期比	
売上高	893.9	880.9	▲ 13.0	▲ 1.5%
営業利益	75.9	62.8	▲ 13.1	▲ 17.3%
経常利益	85.9	65.4	▲ 20.5	▲ 23.9%
純利益 <sup>(*1)</sup>	66.1	41.6	▲ 24.5	▲ 37.1%
ROS <sup>(*2)</sup>	9.6%	7.4%	▲ 2.2pt	
ROE <sup>(*3)</sup>	17.2%	9.4%	▲ 7.8pt	
ROIC <sup>(*4)</sup>	9.7%	7.3%	▲ 2.4pt	

## 事業環境

- ・国内粗鋼生産量 (FY2024上期) 4,184万トン (前年同期比▲4.4%)
- ・世界粗鋼生産量 (2024年1~9月) 13億9,410万トン (前年同期比▲1.9%)
- ・インド粗鋼生産量 (2024年1~9月) 1億1,030万トン (前年同期比+5.8%)

\*1：親会社株主に帰属する純利益

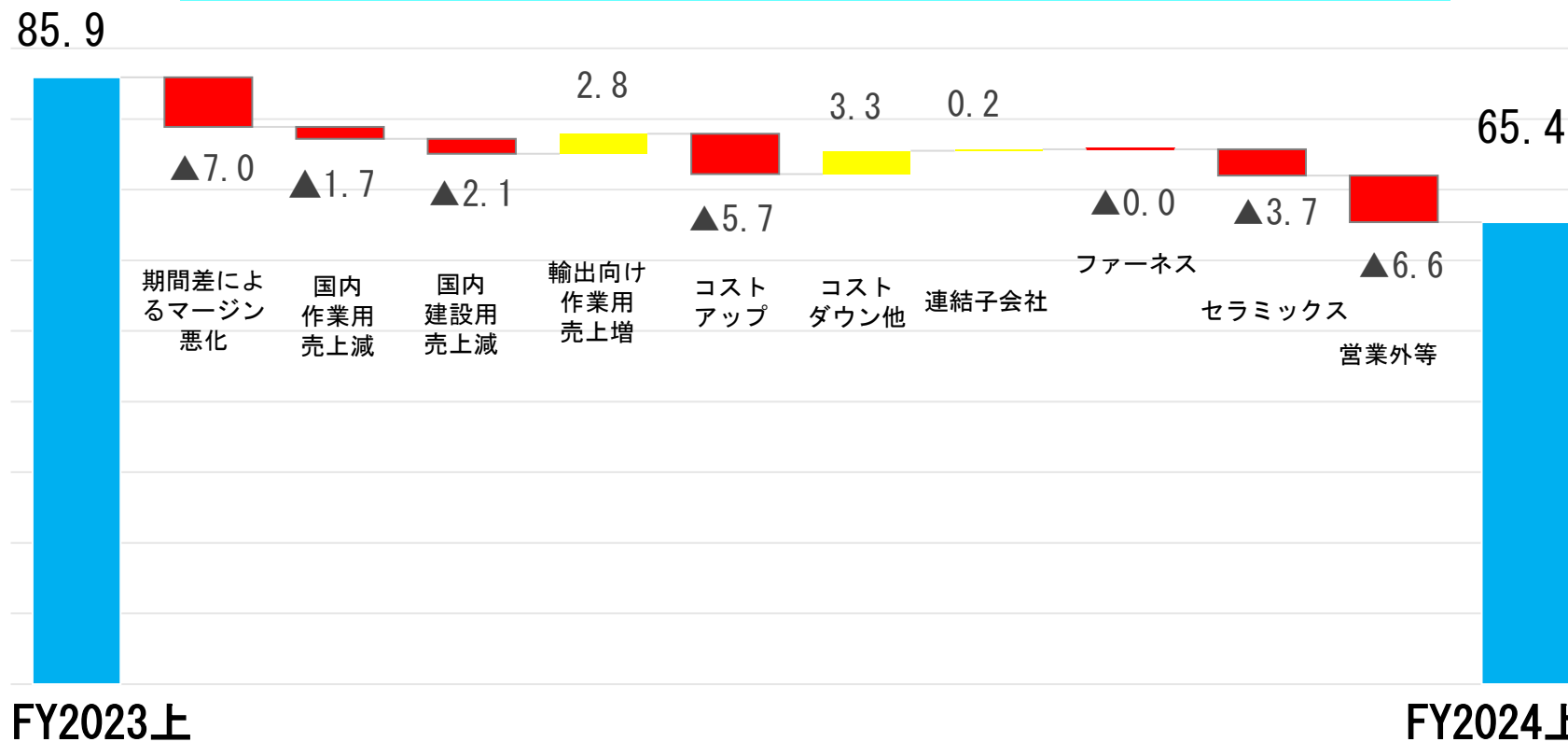
\*2：売上高経常利益率

\*3：ROE(自己資本利益率)は上期純利益を2倍にして算定

国内外の粗鋼生産量が減少した影響を受けたことに加え、前半が円安水準で推移したことによる輸入原材料価格の上昇を要因とする一時的なコスト負担等により減益。

単位：億円

**20.5億円の減益**



下期は、上期に一時的に負担したコスト上昇分を販売価格に確実に転嫁できること、ファーネス事業で大型工事案件受注が既に確定していることに加え、インドを中心とする海外事業の拡大や自助努力の更なる追求により業績の改善を見込む。

単位：億円



# セグメント別業績(連結)

単位: 億円

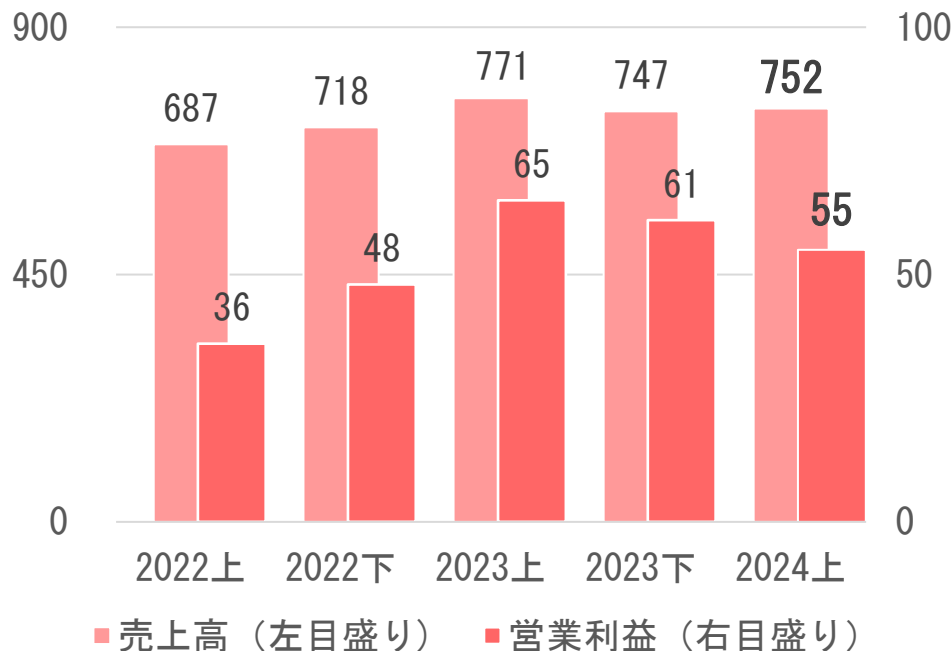
		FY2023上期	FY2024上期	前年同期比	
耐火物	売上高	771.3	752.7	▲ 18.5	▲ 2.4%
	セグメント利益	65.0	55.5	▲ 9.5	▲ 14.6%
ファーンレス	売上高	73.2	81.8	+ 8.6	+ 11.8%
	セグメント利益	3.0	2.9	▲ 0.0	▲ 0.1%
セラミックス	売上高	41.5	37.5	▲ 4.0	▲ 9.7%
	セグメント利益	4.9	1.1	▲ 3.7	▲ 75.6%
不動産他	売上高	7.8	8.6	+ 0.8	+ 11.5%
	セグメント利益	2.9	3.0	+ 0.0	+ 2.8%
合計	売上高	893.9	880.9	▲ 13.0	▲ 1.5%
	セグメント利益	75.9	62.8	▲ 13.1	▲ 17.3%

※各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

## 業績推移

単位：億円

	FY2023上期	FY2024上期	前年同期比	
売上高	771.3	752.7	▲18.5	▲2.4%
営業利益	65.0	55.5	▲9.5	▲14.6%



## 上期業績レビュー

- 堅調なインド鉄鋼市場等での事業拡大を進めたものの、国内外の粗鋼生産量が減少した影響を受けたことに加え、前半が円安水準で推移したことによる輸入原材料価格の上昇を要因とする一時的なコスト負担等により減収減益。

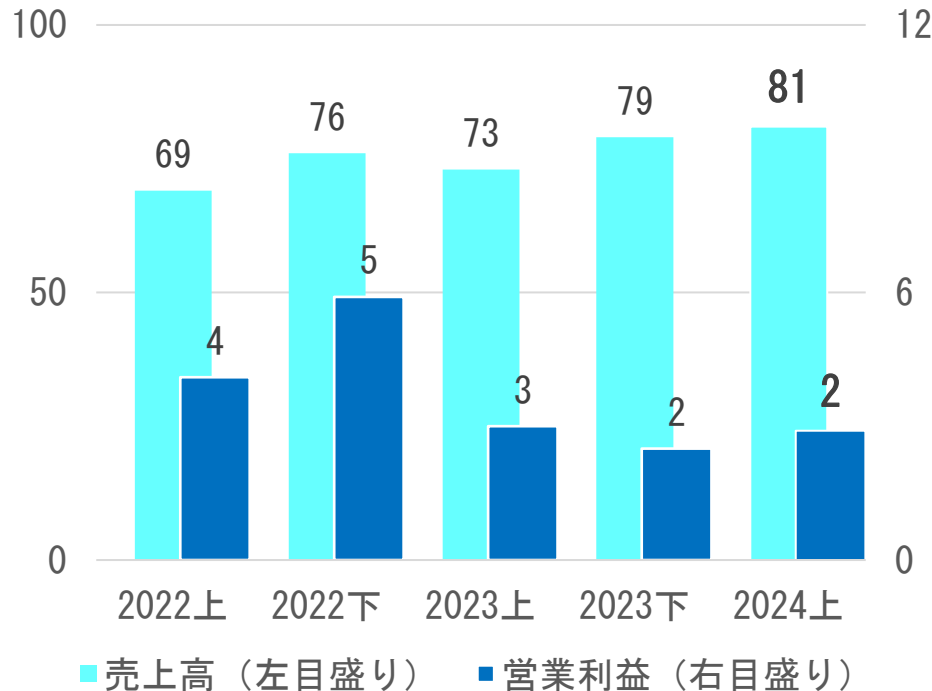
## 今後の取り組み

- 国内は自動化・省力化やDX推進、技術力を活かした新商品の市場投入により競争力を更に高め、収益基盤をより強化する。
- インドでは拡大する需要を確実に捕捉すべく生産能力増強を進める。
- 欧州・米州ではアライアンスパートナー企業と当社製造・販売拠点との連携深化により一層の事業収益拡大を目指す。

## 業績推移

単位：億円

	FY2023上期	FY2024上期	前年同期比	
売上高	73.2	81.8	+8.6	+11.8%
営業利益	3.0	2.9	▲0.0	▲0.1%



## 上期業績レビュー

- 売上は、大型工事案件が開始したことにより増収。利益は、受注案件の一時的構成差等により減益。

## 今後の取り組み

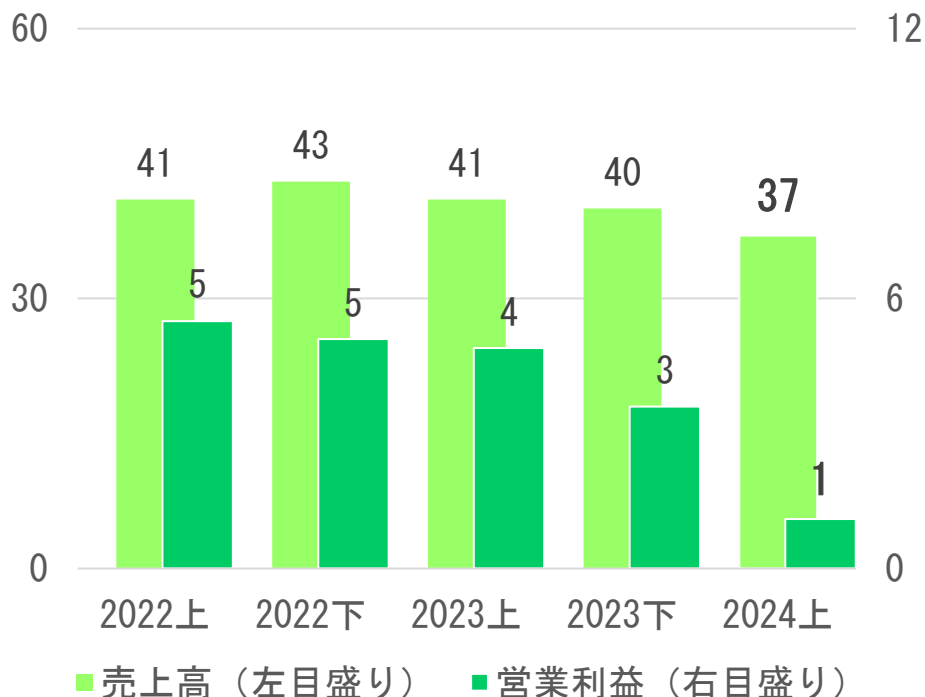
- 大型工事案件の確実な捕捉、製鉄設備整備作業の継続受注、及び要員効率化等のコストダウンにより収益力向上を推進する。
- 省エネ工業炉の設計・施工に加え、バイオマスを含む発電用ボイラ、及び焼却炉等、非鉄ユーザー向けの新規・メンテナンス案件の受注増により収益を拡大する。



## 業績推移

単位：億円

	FY2023上期	FY2024上期	前年同期比	
売上高	41.5	37.5	▲4.0	▲9.7%
営業利益	4.9	1.1	▲3.7	▲75.6%



## 上期業績レビュー

- 半導体製造装置向けセラミックス材料と家庭用燃料電池向け断熱材が、受注の谷間となったことにより減収減益。

## 今後の取り組み

- 半導体業界団体の米SEMI\*は、9月に、世界の半導体メーカーが2025-27年に半導体製造装置への過去最大規模の投資を行うとの予測を公表。当社は半導体露光装置向けを中心に拡大する需要を確実に捕捉する。
- 環境分野向け断熱材、電子部品向けセラミックス材、宇宙・医療等の新規分野向け製品等、各分野での拡販により収益を更に拡大する。

\* SEMI : 国際半導体製造装置材料協会



<https://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。